

## 地域公共交通確保維持改善事業に係る地域間幹線系統確保維持費

### 国庫補助金の事業評価（案）について

#### 協議趣旨

日東交通株式会社が木更津駅西口から富津公園まで運行している路線バス富津線は、国の令和7年度地域公共交通確保維持改善事業の計画認定を受けていることから、同事業の実施要領等に基づき、自己評価（一次評価）を行い、令和8年1月末日までにその結果を国に報告する必要があるため、本案について事業評価を実施する。

#### 【参考】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

（協議会）

第3条

- 5 協議会は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

地域公共交通確保維持改善事業実施要領

8. 事業評価について

（1）事業評価の実施

①自己評価（一次評価）

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価（以下「自己評価」という。）を行い、当該自己評価の結果を、地域公共交通確保維持事業及び地域公共交通調査等事業にあつては、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに、地域公共交通バリア解消促進等事業にあつては、補助金の交付を受けた会計年度の翌年度の1月末までにそれぞれ協議会から、地方運輸局、神戸運輸監理部、地方航空局又は沖縄総合事務局（以下「地方運輸局等」という。）に報告するとともに、公表することとする。

# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和8年1月 日

協議会名：富津市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

A：事業が計画に位置付けられた目標を達成した  
 B：事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった  
 C：事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
日東交通(株) 富津線	木更津駅西口～青堀駅～ 富津公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年11月26日、市内小学生を対象とした路線バス乗り方教室を日東交通株式会社と開催した。</li> <li>・市ホームページにて、時刻表やダイヤ改正等の情報を掲載しているほか、運転免許証返納者への優遇制度として、バス事業者の優待割引制度を紹介するページを掲載した。</li> <li>・公共交通を利用した日帰り旅行プラン（おでかけモデルプラン）を作成し、市ホームページに掲載した。</li> <li>・市内の公共交通を網羅的に掲載した公共交通マップを令和7年3月に更新し、配布した。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	<p>計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。</p> <p>【目標①】年間バス利用者数 令和8年度（R7.10～R8.9）までに15万人</p> <p>【効果達成状況】 令和7年度（R6.10～R7.9） 13万3千人 （令和6年度利用者数 14万人）</p> <p>【目標②】前年度と比べ、収支率を1%以上改善させる。 （令和6年度収支率 61.9%）</p> <p>【効果達成状況】 前年度と比べ、収支率は4.9%悪化し、57.0%となった。</p> <p>【目標の達成状況の要因】 R6.4月に減便を実施したことにより利用者が減少し、また、物価高騰の影響が大きく、燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が 증가となった。</p>	鉄道のダイヤ改正に合わせたバスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。

## 事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月 日

協議会名：	富津市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

<p>地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)</p>	<p>富津市においては、市外へ通じる幹線交通である鉄道や地域間幹線を運行する路線バスを軸に、市域内に広範に廃止代替バスにより構成される公共交通網が広がっている。</p> <p>これらの公共交通については、商業施設や医療機関が集中している富津市北部や市から北に位置する木更津市の総合病院及び君津市の大規模な商店等が当市民の日常生活機能を担う中で、幹線交通が君津市等に向かう唯一の手段として、車を運転できない高齢者等を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。また、この幹線交通に通じる廃止代替バスが支線の役割を果たしている。</p> <p>しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、当市の公共交通機関の利用者は減少を続け、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生し、一部地域では、幹線交通と廃止代替バスの乗り継ぎが不十分であり、幹線道路から離れている集落については、そもそも交通手段が確保されていないなど、住民に不便を強めている状況にある。</p> <p>このため、地域間幹線系統である路線バス富津線を地域公共交通確保維持事業により運行の確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。</p>
-------------------------------------	---

### 協議会名・補助対象事業者名

千葉県バス対策地域協議会  
日東交通株式会社

### 系統名

富津線

### 事業の目的・必要性

- 富津沿線地区から青堀駅までのアクセス
- 人見・大和田地区から青堀駅、木更津駅までのアクセス
- 桜井地区から木更津駅までのアクセスとして必要
- 日本製鉄東日本製鉄所君津地区とその関連企業及びソニー木更津等への通勤
- 桜井地区学童の木更津第二小学校への通学

### 事業の概要・目標・効果

- 路線名 富津線
- 起点、経由地、終点 木更津駅西口～青堀駅～富津公園
- 系統キロ 15.1km
- 平均運行回数 12.9回／日(平日14.5回、土日祝10.0回)
- 目標・効果 令和6年度と比べ、収支率1%以上改善
- 利用促進・生産性向上の取組
  - ・タウン誌への路線情報の掲載
  - ・路線バス乗り方教室及びPRイベントの実施
  - ・路線バスを利用する利点や、交通事業者が実施している高齢者への助成制度について、ホームページ、市広報紙等へ掲載

### ● 直近3ヶ年の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
輸送人員(人)	149,279	139,949	132,888
経常収支(円)	▲ 19,786,707	▲ 22,111,167	▲ 26,184,479
収支率(%)	66.4	61.9	57.0
平均乗車密度(人)	4.1	4.2	4.4
補助金額(千円)	6,779	4,553	4,590

### 目標・効果の達成状況

#### 【達成状況】

前年度と比べて、収支率は4.9%減の57.0%に悪化した。

#### 【目標を達成できなかった要因(分析)】

R6.4に減便を実施したことにより利用者が減少し、また、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。

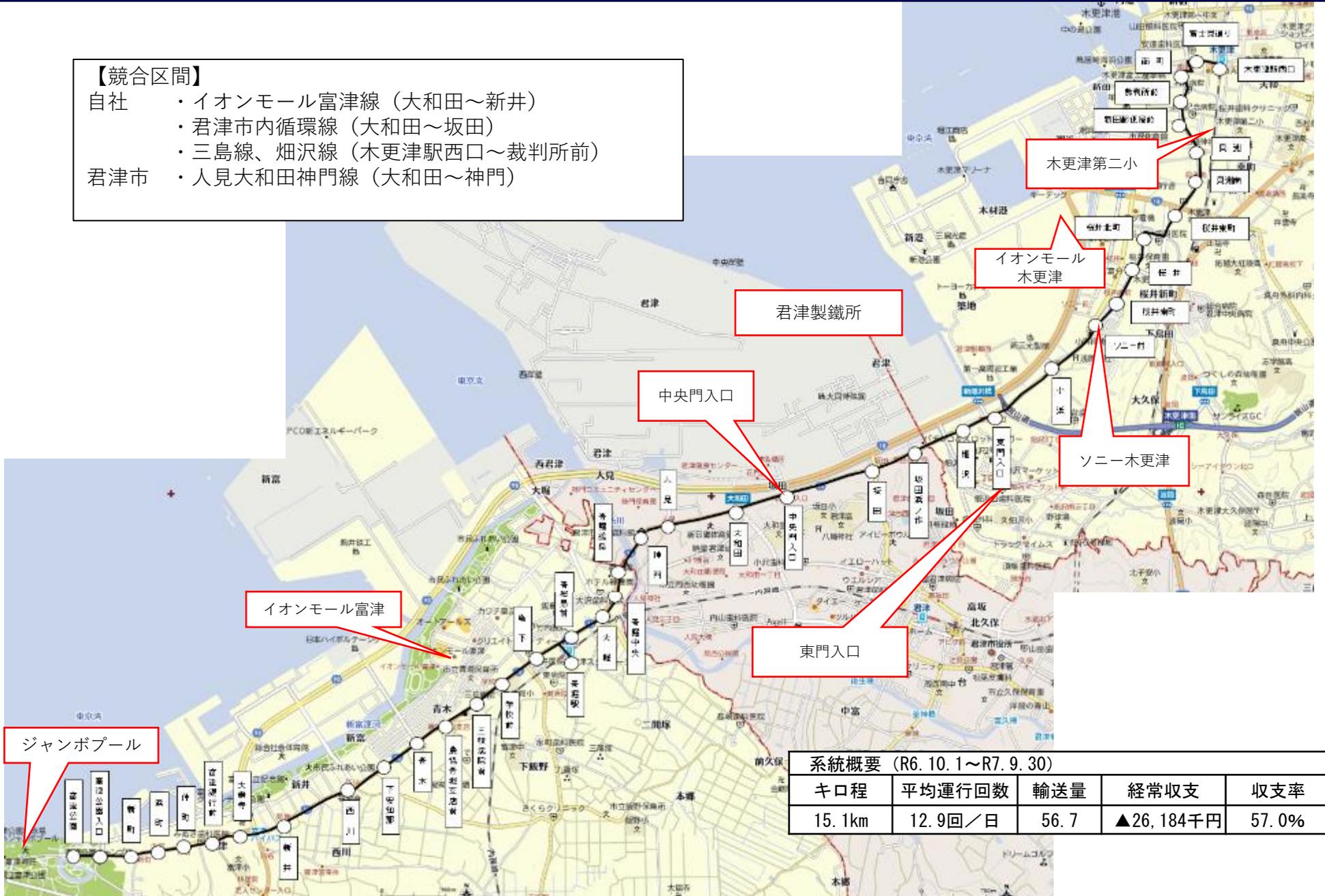
### 今後の改善点

鉄道のダイヤ改正に合わせたバスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。

# 事業実施区域

## 【競合区間】

- 自社
  - ・イオンモール富津線（大和田～新井）
  - ・君津市内循環線（大和田～坂田）
  - ・三島線、畑沢線（木更津駅西口～裁判所前）
- 君津市
  - ・人見大和田神門線（大和田～神門）



系統概要 (R6. 10. 1～R7. 9. 30)				
キロ程	平均運行回数	輸送量	経常収支	収支率
15.1km	12.9回/日	56.7	▲26,184千円	57.0%